

ラオスの子供に
笑顔呼ぶ走りを

◇山梨英和中・高では2年

に1回ウォーカソンを行って
います。ウォーカソンは、生徒
一人一人が自らスポンサーを
募り、走ることによって多く
の募金を集め、ダルニー奨学
金として寄付するというもの
です。私は国際協力機構(JI

CA)研修でラオスに行き、ダ
ルニー奨学金の奨学生である
子どもたちと交流の時間を持
つことができました。私はウ
ォーカソンで走る時、同じ年
齢くらいの世界の子どもたち
のためにといっても、今まで
は実感がありませんでした。

◇ラオスに行って感じたこ
とや、ウォーカソンで走るこ
とで、何ができているのかを
他の人たちに伝えていかなけ
ればいけないと思います。山
梨英和が何十年にもわたって
行ってきた意味を知ること

◇今回のJICA研修でラ
オスの学校へ行き奨学生と会
うことで、自分たちがウォー
カソンで走る意味を改めて感
じることができました。また、
子どもたちの笑顔を見たとき
に、私たちが走ることでこん
なにたくさんの笑顔が生ま
れ、友達と笑い合うことがで
きるようになると実感しまし

で、走る時の思いも変わって
くると思います。私たちは今
年もウォーカソンを行いま
す。ただただ走るのではなく、
ラオスの子どもたちの笑顔を
増やすという思いを乗せて走
りたいと思います。これから
も山梨英和とラオスのつなが
りが続き、支援できますよう
にと願いを込めて。